

# 事務事業評価資料

施策名	観光ツーリズムの推進		所管部局課名	産業労働部観光・国際局観光振興室					
事業名	やる気観光地サポート事業		担当者電話番号	大型観光交流キャンペーン推進担当 078-362-3838					
事業目的	新たな逸品・名所・着地型ツアーなど新規の観光資源づくりをサポート								
事業内容	県内の観光協会等が取り組む新たな観光資源づくりへの補助 補助対象 観光協会等 対象事業 観光資源づくり等 補助率 1/2以内 補助限度額 1,000千円			事業開始年度	22年度				
事業に要するコスト	区分	平成20年度決算額		平成21年度当初予算額		平成22年度当初予算額			
	事業費	(0千円) 0千円		(0千円) 0千円		(16,300千円) 16,300千円			
	人件費	0千円	従事人員 0.0人	0千円	従事人員 0.0人	1,640千円 0.2人			
	総コスト (+)	0千円	従事人員 0.0人	0千円	従事人員 0.0人	17,940千円 0.2人			
事業の目標	新たな逸品・名所・着地型ツアーなど新規の観光資源づくり件数 「県政推進プログラム100」で設定した目標 地域の特色を生かした新たな名物の開発 毎年1件 (H22~25)			【目標設定理由】 ・地域の特色を生かした名物の開発など新規の観光資源づくりは、観光客の増加に繋がり、観光地の地域経済への貢献度が高いため、新規の観光資源づくり件数を目標に設定した。					
目標の達成度を示す指標	指標名	目 標		20年度実績	21年度見込み	22年度目標	達成率(%)		
		目標値	年度				H20	H21	H22
		10件	平成22年度	- (-)	- (-)	10件 (-)			
評価結果	必要性	・ツーリズムの推進による交流人口の増加に向けて、地域の特色を生かした新たな観光資源づくりを進める必要がある。							
	有効性	・H21に実施したデスティネーションキャンペーン(DC)・やっぱりひょうごキャンペーンを機に、各地域で進んだ新たな観光資源づくりへの意欲が高まっていることから、引き続き県で支援する有効性はある。							
	効率性	・観光協会等の活動を支援することによって、地域と一体となった効率的な執行が可能である。 ・また、(社)ひょうごツーリズム協会が申請受付から実施確認、補助金支払いまでを一括して行うことにより、効率的な執行が期待できる。							
	民間・市町との役割分担	・ツーリズムについての専門的知識と豊かな経験を有し、市町や観光協会、観光関連企業等と緊密な連携関係があり、民間の活力・地域の主体性を最大限に活用できる(社)ひょうごツーリズム協会が事業を実施する。 ・また、他地域への波及効果もある取り組みに対する支援であることから、県で実施するのが適当である。							
	受益と負担の適正化	・交流人口の拡大による地域の活性化に資する事業であり、地域にとっても効果が見えることから、補助率1/2と応分の負担を求めている。							
実施方針	方向性	新規		拡充		継続		実施手法の見直し	
	実施手法の見直し内容	廃止	縮小	統合	凍結(休止)	延長	終期設定		
説明	市町移譲	民間移譲	民間委託	PFI	負担割合変更	事務改善	その他		
	観光に関する専門知識、経験を有する県レベルでの唯一の団体である(社)ひょうごツーリズム協会が、地域の魅力を活かした新たな観光資源づくりに取り組む事業を支援することで、交流人口の更なる拡大を図る。								